

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	舞踊	種目	現代舞踊
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ごうどうがいしや ぜつたいてき		
	制作団体名	合同会社 絶対的		
	代表者職・氏名	代表社員・川口智子		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.tomococafe.com">https://www.tomococafe.com</a>
	制作団体所在地	〒 177-0053	最寄駅(バス停)	北裏(関東バス)
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	令和元年 7月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	代表社員 川口智子	役員(構成員) 1名 監査役 1名 加入条件:総社員の同意の後、定款を変更する	
	経理処理等の監査担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	中條 玲
	本応募にかかる連絡先	有	経理担当者	川口 智子
		メールアドレス	電話番号	
	<a href="mailto:info.tomococafe@gmail.com">info.tomococafe@gmail.com</a>	09015305741		

制作団体の実績	<p><b>制作団体沿革・主な受賞歴</b></p> <p><b>【団体設立の目的と沿革】</b></p> <p>○目的 1) 演劇、舞踊、音楽、伝統芸能、美術、映像など、ジャンルの違いを超えた新しい表現を探求し、上演活動として実践・発信を行う。 2) 国際的なネットワークを構築し、海外アーティストや団体とのコラボレーションを行う。 3) 制作した作品をレパートリーとして国内外で再演する。</p> <p>○沿革 団体の代表を務める川口智子の企画作品上演にあたり、より活動の幅を広げ、継続的な活動を行うことを保障するために法人を設立した。令和元年8月のイギリスでのレジデンス型製作より、本社の主催事業としての活動を始めた。新型コロナウィルスの世界的感染拡大を受けて延期となった海外での活動は令和4年5月のイギリス・コロネット劇場での上演活動を機に再開。国内では自治体や公共ホール等との協働で地域の市民や子どもたちを対象にした上演活動やワークショップ等の活動も行っている。主な活動に、多摩市市制50周年記念事業『たまたまモンスター in 多摩市』(令和4年、事業企画・運営)、ぐにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』(令和4年、川口智子への演出委託事業)、いわきアリオス『おでかけアリオス』(令和6/7年・、川口智子への派遣委託事業)など。</p> <p><b>【所属アーティストの受賞歴】</b> 平成30年アーツコミッショナ・ヨコハマ クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ</p>
	<p><b>学校等における公演実績</b></p> <p><b>【制作団体としての活動実績】</b> 令和4年7月 東京都多摩市児童青少年課の委託により『たまたまモンスターin多摩市』を実施(市内小学生を対象としたワークショップおよび発表会) 令和6年～7年、いわき市内小中学校10校にアウトリーチ活動(いわきアリオス芸術館主催「おでかけアリオス」プログラム)／影絵小公演とワークショップの実施 令和7年度 学校巡回公演・現代舞踊『海のツブ』小学校2校・中学校1校 ※巡回公演実績は10月1日時点、予定を含む</p> <p><b>【所属アーティストの活動実績】</b> 令和4年度 巡回公演事業・音楽劇『太陽のタネ』小学校5校、養護学校(中)1校 令和5年度 巡回公演事業・音楽劇『太陽のタネ』小学校6校、養護学校(中)1校 令和6年度 巡回公演事業・音楽劇『太陽のタネ』小学校2校、中学校1校</p>
	<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p> <p><b>【制作団体としての活動実績】</b> 令和6年 6月 いわき市内の児童を対象にしたチャレンジホーム(いわきアリオス芸術館主催「おでかけアリオス」プログラム)／影絵小公演とワークショップの実施 令和7年 9月 上記チャレンジホームにて影絵小公演とワークショップの実施</p> <p><b>【所属アーティストの活動実績】</b> 令和4年度 巡回公演事業・音楽劇『太陽のタネ』養護学校(中)1校 令和5年度 巡回公演事業・音楽劇『太陽のタネ』養護学校(中)1校 令和6年～7年 障がいのある人と演劇の時間を過ごしてみるワークショップ(主催:あし場企画)／ゲストアーティスト</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/s9o7pQC8OHw">https://youtu.be/s9o7pQC8OHw</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID: PW:	なし なし

別添	あり			
	【公演団体名 合同会社 絶対的】			
対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>
企画名	ダンスと美術の小さなサークル『海のツブ』			
企画のねらい	<p>大海原を冒険する少年の旅を通して、子どもたちに「必ず誰かが待っていてくれるよ」というメッセージを届ける作品です。ひとりのダンサーが子どもたちと直接関係性をつくりながら物語を進めることで、子どもたちの芸術体験をより身近なものにします。仕掛けのある美術(小道具)が海の事象を描きます。科学的な面白さを刺激するとともに、温暖化や海洋環境の課題を想起させる場面もあり、学校での学習を活かしながら芸術に触れる・芸術を理解する機会を提供します。制作に携わったアーティストがワークショップを実施し、子どもたちが直接アーティストと触れる機会をつくります。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>出演者はひとり、仕込み・ワークショップの人員も併せて合計6人でツアーを行うため、コンパクトに公演とワークショップを行うことができます。舞台だけでなく、独自のデザインの客席を持ち込み、体育館を仮設の劇場にするため、学校の規模や体育館の条件に左右されず、作品の質を保ったツアーを行うことができます。同時に照明や美術などの効果により、いつもの体育館が劇場へと変わるダイナミックさを体験してもらいます。</p> <p>言葉のない作品で、視覚的な刺激もたくさんある作品なので、主に聴覚障害を持つ子どもでも同じように楽しめます。そのほかの障害を持つ子どもたちにも鑑賞をお薦めすることができます。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>ワークショップ実施時間に、深海の生物たちをモチーフにして子どもたちと共に場面をつくります。本番では、主演ダンサーと共に演じてもらいます。</p> <p>本作を制作した演出家と主演のダンサーを主な講師とし、同行のスタッフもワークショップの補助として参加し照明や道具なども併せたワークショップを行うため、子どもたちに「劇場でつくる時間」を楽しんでもらいます。</p> <p>公演全体が子どもたちとの掛け合いで行われる演出になっているため、ワークショップに参加していない子どもたちも積極的に鑑賞することができます。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	最大20人	
		鑑賞人數目安	最大80人	
本公演・ワークショップの内容	<p>作・演出・美術:川口智子(演出家)      振付・出演:熊谷拓明(ダンサー、振付家)      美術製作:野畠太陽(アート・ディレクター)      照明プラン:横原由祐(舞台照明家)      制作:合同会社絶対的 制作協力:踊る『熊谷拓明』カンパニー</p> <p><b>【あらすじ】</b>      1通の手紙が入ったガラス瓶。その瓶を船にして少年は大海原へと出発する。最初にであったのは航海を祝福してくれる古代の魚。それからカラフルなカメリ踊るクラゲ、夜の海には嵐が来たり、氷山の氷が溶けだしたり! やがてたどり着く先に少年を出迎えてくれるのは…?</p>			
	公演時間	50	分	
出演者	<p>熊谷拓明(くまがい・ひろあき)／踊る『熊谷拓明』カンパニー主宰、振付家、ダンサー      1979年札幌生まれ。2008年～2011年、世界的に有名なカナダ発のエンターテイメント集団シルク・ドゥ・ソレイユのアメリカ合衆国ラスベガス公演『believe』に出演。3年間で同作の850回のステージに立つ。帰国後、自ら作、演出、振付を手掛ける作品を『ダンス劇』と呼び、独特のゆるい台詞としなやかな動きで物語を繰り広げる作品を数多く発表。近年の作品に「ダンス劇『マリーの夢』」(神奈川県民ホール主催・2023年)、「YohaS ダンス劇」(一般社団法人千葉公園YohaS振興会・2023年)など。</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴※3名程度※3行程度/名	<p>川口智子(かわぐち・ともこ)／演出家。地域のホールや自治体と協働し、子どもから大人までが参加できる市民参加型の作品制作を多数行う。近年の作品に『あの町は今日もお祭り』(令和4年東京都)、ミュージカル『回転木馬』(令和5年三重県)、『モモ』(令和7年神奈川県)など。海外アーティストとのコラボレーションや国外での公演・ワークショップ実績も多数。</p> <p>野畠太陽(のばた・たいよう)／アート・ディレクター。2018年ロサンゼルスフィルムスクール卒業後、プロダクションデザイナーとしてロサンゼルスにて活動を始める。帰国後、プランディング企業にてアートディレクターを務めた後2022年独立。Asian Cinematography Award 2019、Brussels International film festival 2023にて最優秀美術賞を受賞。</p>			
本公演従事予定者数(1公演あたり)※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者: 1 名	運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 5 名		車 長: 5 m	
	合 計: 6 名		台 数: 1 台	

本公演会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込		有	前日仕込所要時間		3.5	時間程度				
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出				
	前日14時	前日14時～17時30分		13時15分～14時	0分	14時30分～15時30分	15時30分				
	※本公演時間の目安は、概ね2时限分程度です。										
本公演実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月				
	20日		20日		20日		20日				
	10月		11月		12月		1月				
	10日		10日		10日		10日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		120日					
本公演・ワークショップの内容	 										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館の舞台上ではなくフロアに舞台面を設置し、体育館内に仮設の劇場空間を作り上げる。</li> <li>リノリウム（床材）を敷き、周りに持持ち込みベンチを置く。観客数によっては、ベンチの内側に桟敷席（カーペットを持ち込み）を設置。</li> <li>舞台に必要な広さは 6 m × 6 m。照明は座席の外側に設置するので、座席分 + 照明設置にプラス 3 m、舞台と客席を合わせて 9 m × 9 m の広さがあれば上演可能。</li> </ul>										
	 										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台と客席の距離が近く、出演者は観客とコンタクトをとり関係性をつくりながら物語を進めていく。</li> <li>島にみたて舞台面に設置された「箱」を開けていくと、中から海の旅を物語る仕掛けが現れる。</li> <li>会場で出来る範囲の暗転を使用。</li> <li>体育館公演では、照明スタンドと灯体を持ち込み設置。音響機材の使用はなし。</li> <li>使用が可能な会場ではモークマシンの使用あり。</li> </ul>										
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし	該当コンテンツ名						
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況						

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

合同会社 絶対的

】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>ダンス(身体表現)と道具や照明(劇場効果)を使った本公演の性質をそのままワークショップに反映し、身体表現と簡単な工作・照明効果を掛け合わせたワークを行います。複合的な要素で実施するため、身体表現もしくは工作のどちらかの得意不得意に左右されず、子どもたちがリラックスしてワークショップに参加できるようになります。</p> <p>グループ作業を通して子どもたち同士がアイディアを交換します。他者との協働作業を体験します。本公演と一緒に上演する場面を創作することで、作品のより深い理解を促します。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	20名程度
	<p><b>【指導者】</b> 川口智子(『海のツブ』演出家) 熊谷拓明(『海のツブ』ダンサー・振付家) ほか、照明・舞台スタッフが補助指導者としてワークショップの進行を手伝います。</p> <p><b>【概要】</b> 身体表現と工作を使って、『海のツブ』の本公演で主演ダンサーとともに上演できる場面をつくります。短い時間遊びながら子どもたちの創造性をのびのびと活かせるようなプログラムです。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) シアターゲームを使って子どもたちとの関係性をつくりながらリラックスして参加できるように促します。</li> <li>2) 簡単なワークから少しイメージを持つワークに切り替えていき、海の中の生物、特に深海にいるような海の生物がどのような動きをするかイメージを膨らませて、実際に動いてみます。</li> <li>3) 小さなライト(LEDで熱くならない豆電球のようなイメージ)に鱗を模すなどした工作を施し、体にくつけて動けるように工作したり、照明スタッフとともに深海のイメージを考えて実践してみます。</li> <li>4) ライトをつけて、2)の動きが影になるとどのように見えるか工夫します。</li> <li>5) ひとりひとりの動きに加えてみんなで大きな1匹の深海魚に見えるのにはどうしたらいいかを考えます。</li> <li>6) 「だるまさんがころんだ」などの遊びの要素を使いながら、本公演の中で主演ダンサーと実際にかけ合うための練習をします。</li> </ol>			
	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>指導者は小学校・中学校でのワークショップ実施の経験が豊富にあるため、人数、学年によって実施内容を適宜調整して対応します。基本的には実際に出演している場面を他の児童に見ても大事だと考えているため、全校生徒の出演は考えていません。学校の全校児童の人数が著しく少ない場合にはその限りではありません。</p> <p>養護学校、支援校での実施については、学校と事前の打ち合わせを丁寧におこなった上で、児童のニーズ合わせた形で実施します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

## 一般区分・特別エリア区分共通

No.4(共通)

別添

なし

【公演団体名】 合同会社 絶対的】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。</li> <li>・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。</li> <li>・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。</li> </ul> 上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。 任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。 詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。 なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。				
	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	30 A以上
	舞台設置面積	間口	6 m	奥行	6 m
		高さ	4 m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	条件が合えば可
	搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	2 m
	遮光の要否	7割程度必要	縦帳の要否	有無のみ確認したい	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		不要
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		200 m以内
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	1.7 m	車長	5 m
	備考	リノリウム(床材)を敷き、周りに持持ち込みベンチを置く。客席数を増やす場合はベンチの内側に棧敷(カーペット持込)席を設置。舞台に必要な広さは6m×6m。照明は座席の外側に設置するので、座席分+照明設置にプラス3m、舞台と客席を合わせて9m×9mの広さがあれば上演可能(相談可能)。搬入車両については巡回地決定後に再度検討。			

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	不要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	特になし			

時間外対応	(任意) 万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。				
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
ワークショップ					
本公演					
本公演					

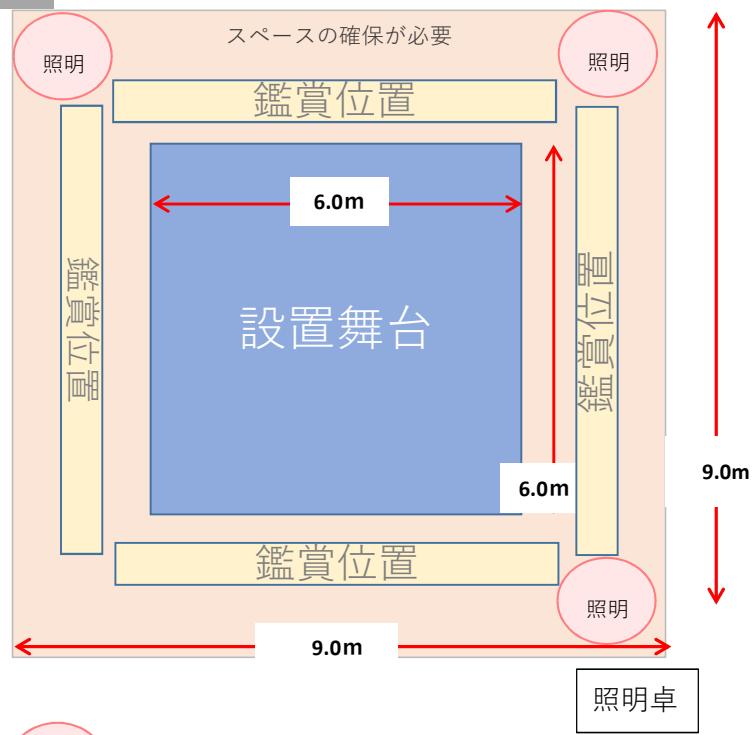
個別確認事項	(任意) 上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
	個別ヒアリング事項	
	1	原則的に、公演前日に体育館で準備をさせていただく必要があります。ご対応可能でしょうか？
	2	運搬については採択確定後に再度検討をしますが、搬入車両は観光バス程度の大きさのものになります。周辺道路の通行が可能でしょうか？
3		

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



## フロア使用時



## フロア使用時

別添

なし

【公演団体名】

合同会社 絶対的

】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

『海のツブ』は、劇場にかかるいろいろなジャンルのアーティストが共につくった作品です。ダンス、演劇、美術、その他のスタッフワークを含め、子どもたちがいろんな切り口から舞台芸術に関心をもつきつかけにしたいと思います。ワークショップで実際に身体表現や工作・スタッフワークを通じて作品づくりを経験することで、芸術をより身近に感じてもらい、これからのお表現につながる糸口となり、他者の表現を受け入れる体験にもしてもらいたいと思います。

本公演の作品の中では、ひとりの少年が大きな海を冒険します。孤独を感じる時間の後にも、必ず誰かが待っていてくれること、これからのお会いがあることを描いています。また、冒険の途中に起きるいろいろな事象は今の世界で起っている現実をベースにしています。海の汚染、地球温暖化、自分とは違う文化を持つ人々との出会いなど、子どもたちが学校でも学んでいることとリンクするこれらのことから、仕掛けのある美術(道具)やダンスで表現することで、別の角度から現実に向き合う時間になることを目指しています。

## 本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

体育館での上演で、より「劇場体験」を味わってもらうため、舞台で使用する機材・道具・客席をすべて持参します。搬出から設営、撤収までコンパクトに行えるようパッケージに工夫をし、会場条件が異なっていても同じクオリティーの高さを保つことができます。

演出家が同行し、各校の状況に応じてフレキシブルな演出を行うことができます。

出演者が即興の経験に富んでいること、また客席と舞台の距離が近いことから、公演中の参加児童・生徒とのコミュニケーションを図りながら進行することができます。子どもたちの居心地のよい空間づくりを意識し、リラックスして作品を鑑賞できるようにします。

ワークショップと公演を内容面で連動させているために訪問者(出演者、ワークショップ指導者(=演出家)、スタッフ)がその双方に関わり、児童・生徒一人ひとりを把握しより効果的な事業展開に努めます。

## 【学校との連絡調整について】

事前に各校からの状況聴取、要望とのヒヤリングを電話、電子メール等を利用し行うことでコミュニケーションを図ります。これまで制作団体が手掛けってきた国内外のツアー等の豊富な経験を活かし、各校の状況に寄り添った対応を心掛けます。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

事前に各学校との連絡を取り合います。大きな音や、激しい光が出る作品ではありませんが、鑑賞に際して不安をもっている児童がいるとしたら、どのような形で参加ができるかと一緒に検討します。

帯同する演出家やメンバーの中には、障がいのある方々とのワークショップの経験を持つものもいるので、これまでの経験を活かしながら、実施校の先生方とも相談し、児童たちに居心地のよい舞台芸術体験をもらえるよう努めます。

また特別支援学級等でのワークショップや本公演も、積極的に実施できれば嬉しいです。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

『海のツブ』は、大きな海でのできごとを、小さな視点から見つめた作品です。取り扱っている内容も、学校での学びとリンクしたり、子どもたちが日常生活で気づいたり体験したりしていることの延長にあります。ワークショップや本公演の後に、子どもたち同士の感想会をしたり、社会や理科について新たな学びの入り口となることを目指しています。また、舞台芸術の表現そのものにもより深い関心を持ってもらえる機会となるよう、本公演の後にアーティストたちが直接質問に答えるなどの時間も設けます。

## 本事業への応募理由等

## 事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

別添

なし

【公演団体名】

合同会社 絶対的

】

特別 エリア 区分 で 事業 を 実施 す る に 当たつ て の 工夫	①離島・へき地等における公演実績	<p>令和7年度巡回公演事業において、本作品を離島・へき地(C区分)で実施しています。また、所属アーティストが委託され参加してきた巡回事業においても、3箇年にわたり離島・へき地(C区分)での公演実績を持っており、ノウハウを蓄積しております。</p> <p>申請団体は国外での公演を含めた公演実績があるため、これまでの経験に基づいて離島・へき地での公演を円滑に行いたいと思っています。</p>
	②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上で、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫	<p><b>【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】</b></p> <p>実施校との打ち合わせについては、本作について熟知している制作者と演出家が協力してヒヤリングを行います。そのため、特殊な事情がある場合にも、事前の準備から当日の実施に至るまで臨機応変に対応しながら、実施校と子どもたちとのニーズに合わせた事業の実施ができるように努めます。</p> <p>主演ダンサーも地域の小さな会場での上演経験が豊富にあり、同行するスタッフも様々な現場に対応できるメンバーを集めているため、いろいろな環境・事情に対応しながら、質の高い事業の実施、また鑑賞機会の少ない地域の子どもたちに、思いきり舞台芸術を楽しんでもらえるように努めます。</p> <p><b>【質を保つための工夫】</b></p> <p>演出家が同行(ワークショップの主指導者)するため、会場の条件に合わせて公演を調整することができます。</p> <p>小人数および短時間での仕込み・撤収を安全に行うために、小規模公演用に組み立てが簡単な装置を持参します。</p> <p>演出家および主演ダンサーは公演およびワークショップの経験が豊富です。子どもたち一人ひとりの状況を見て、コミュニケーションをとりながら事業を実施することができます。</p>
	③特別エリア区分応募における、費用面の工夫	<p>移動・運搬の困難さを想定し、道具類は運搬に適したデザインでつくっています。出演者やスタッフの数を最低限にします。</p> <p>出演者・スタッフは共に国内外での経験が豊富なメンバーである。限られた人数で、質の高い公演およびワークショップを実現します。</p> <p>移動回数を少なくするため、公演当日にワークショップを行います。</p>

リンク先

No.2

【公演団体名】

合同会社 絶対的

】



## 項目内容

## =初演時の観客コメント=

- ・子どもたちを巻き込んで楽しませる世界観がすばらしい
- ・間近でみたダンスの動きが凄い
- ・美術仕掛けが可愛らしくよく出来ていて、どんどん世界が拡がっていくワクワク感が楽しい
- ・何が起きるのか予想もつかず、観客を巻き込んでの演出が新しくて面白い
- ・観客との自然な即興的な関わり合いが作品になっていくのを、その場にいるみんなで共有することができ、心が温かくなりました。それがすべて美しい（光、音、ダンス、物、その調和）。ハッとしたり、笑ったり、耳をすませたりしながら一緒に海を冒険したような気持ちになりました。